# ゲスト（パネリスト） ※敬称省略　GUEST(PANELIST)

【女優】
**■横山真弓**　（よこやま　まゆみ）

1979年10月5日生まれ。静岡県浜松市出身。豪勢堂　GLove所属。大学在学中に劇団を結成し表現活動を開始。現在は映画・ナレーションを中心に活動中。主な出演作品は『LESSON』（監督：久保裕章）、『ひょうたんから粉』『口腔盗聴器』『雑音』（監督：上原三由樹）、『東京うんこ』（監督：村松英治）など。

【俳優】
**■澤田和宏**　（さわだ　かずひろ）

1986年1月19日生まれ、富山県出身。小学二年生の夏にブラスバンド部に入部し、トランペットを始める。富山県立福野中学校を経て、富山県立福光高等学校へ進学。卒業後、上京。2011年3月、映画「漫才ギャング」の端役でデビュー。近年は、「埼玉家族」（'13）「MARCHING-明日へ-」（'14）に出演。映画「The Salad Rudies」で映画初主演を果たす。現在、ジャズトランペッター・日野皓正氏に師事。ジャズシンガー・五十嵐はるみ氏のバンド「Blues Angels」のライブにゲスト出演する等、ジャズのフィールドでも活動中。

【女優・映画監督】
**■村田　唯**　（むらた　ゆい）

北海道岩内町生まれ。地元の高校に通いながら札幌市でアイドルユニットpinkとして活動。2004年、役者を志し上京。日本大学芸術学部に在学中、映画『ロボゲイシャ』（井口昇監督）の一般オーディションで、ミスロボゲイシャ・グランプリを獲得しロボゲイシャガールとして出演。その他、出演作に「デッド寿司」（井口昇監督）、「青いソラ白い雲」（金子修介監督）、「月光ノ仮面」（板尾創路監督）『みんな、エスパーだよ！』（園子温監督・入江悠監督・鈴木太一監督）等、個性的な監督達の作品に起用されている。2013年処女作「密かな吐息」のメガホンを取る。

【プロデューサー】
**■多賀悦二**　（たが　えつじ）

1986年生まれ、大阪府出身。Doctor Merrick Productions代表。高校卒業後に上京し、2010年に映画美学校へ入学。メイキング、美術部などで商業作品に参加した後、久保裕章らと共にDoctor Merrick Productionsを立ち上げる。同プロダクション製作の『うつろう』（公開未定/久保裕章監督）ではプロデューサー・助監督を兼任。現在は同プロダクションの法人化と、次回作の製作に向けて準備中。

【進行】
**■高橋和憲**　（たかはし　かずのり）

1948年、網走市生まれ。網走南ヶ丘高校卒、1971年、電気通信大学卒業後共同通信社外電部に入社。技術職員として国際ニュースを集配信するネットワークの保守管理と無線通信の運用を担当。1987年～1990年、大阪支社技術部、全国47都道府県の新聞社と放送局にニュースを配信するコンピュータの管理運用、記者に同行し、取材現場から記事・写真・映像を電送する業務に従事。2002年～2005年、名古屋支社技術部長、2008年6月、東京本社技術部長職を定年退職した。退職後、故郷Uターンし旧呼人郵便局をリフォーム、2009年、自営の事務所・共同インフォメーションを設立。初心者向けパソコン教室を表看板にし、オホーツク網走フィルムフェスティバルのほか、網走ジャズフェスティバルなどマチおこしイベントに当初から積極的に参加。映画『大地の詩』のロケ地・博物館網走監獄で、刑務所職員役としてエキストラ出演する。原作「留岡幸助物語」の著者・藤井常文氏は高校時代の同級生。

**■平野雅久**　（ひらの　まさひさ）

網走市生まれ。東海大学建築学科卒。1984年に市職員採用後、都市開発課、社会福祉課などの部局や北海道庁への出向を経て、現在、網走市監査事務局に勤務。この間、一級建築士などの資格を活かして、確認申請の審査、都市計画（街づくり）、太陽光発電の推進、濤沸湖水鳥・湿地センターの整備など、幅広い業務に携わる。2008年、数々の映画・ドラマのロケ地・オホーツクの魅力をＰＲし、映画館の無い網走で映画を観る・語る・創る文化を育もうと映画祭「オホーツク網走フィルムフェスティバル」を有志と企画し、博物館網走監獄で初開催。２年目からは会場をエコーセンターに移動。毎年、『網走番外地』シリーズのほか、網走で撮影された『ケンタとジュンとカヨちゃんの国』や中国映画『狙った恋の落とし方。』など多くのオホーツクロケ映画の上映を実現している。また、ロケの支援、ロケ地マップの作成、監督を講師に招く「映画教室」の開催など、“映像資源”を活かした文化活動を展開。『大地の詩』（2011）では、刑務所の看守役としてエキストラ出演している。2013年には『抱きしめたい』(2014)の地元ロケ誘致に関わる。

**◎映画監督　石井輝男**

2005年８月12日に亡くなった映画監督・石井輝男は、1924年東京に生まれ、昭和初期を熱烈な映画少年として過ごしました。東宝を経て新東宝撮影所で助監督となり、成瀬巳喜男、清水宏に従事。1957年『リングの王者　栄光の世界』で監督デビュー。その後、東映・松竹・日活などで活躍しました。

なかでも高倉健主演の東映作品『網走番外地』は、1960年代の世相を反映して大ヒットし、『続　網走番外地』『網走番外地　望郷篇』などシリーズ化され、石井監督で10本、降旗康男監督らの『新網走番外地』で８本の人気シリーズになりました。

その後、石井監督は、1993年つげ義春原作の『ゲンセンカン主人』、98年同じ原作者の『ねじ式』、2001年江戸川乱歩原作の『盲獣vs一寸法師』を監督。生涯で84本の劇場公開作品を遺しました。数々の作品が海外でも高い評価を得て、“キング・オブ・カルト”とも呼ばれました。

ダンディズムに徹して映画一筋に生きた石井輝男監督は、人生の番外地に生きた男とも言えます。

〔(株)石井輝男プロダクション　山際永三〕

※故石井輝男監督の墓は、オホーツク海を望む網走市潮見墓園にあります（＝写真 左）

## オホーツク網走フィルムフェスティバル実行委員会(2015)

オホーツク・網走において、地域資源を活かした「映像文化」と「まち」の振興を図るため、映像と創作活動を支援し、映画上映、映画対談、映画教室、交流会などを通して、映画に親しむ環境を創出します。

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 池田　優昭 | 石嵜　啓吾 | 稲毛　孝貴 | 犬塚　紫陽 | 岩渕　桃奈 | 宇都宮咲耶 | 梅津　美沙 | 大島　未裕 | 小川左都子 | 小川鈴ノ介 | 菊地　徳孝 | 北山　紗紀 |
| 北山　裕子 | 久保　徹 | 桑畑　由衣 | 小林　祐子 | 斉藤　篤 | 澤　桜 | 塩島　寛 | 島田　幸 | 嶋田　悠亮 | 島田　梨帆 | 清水あかね | 下村　翔太 |
| 鈴木　美里 | 相馬　未愛 | 高橋　和憲 | 高橋　洋子 | 立花　健 | 田中優希代 | 勅使川原光貴 | 中嶋　賢一 | 中津川愛理 | 中原　章博 | 西ノ内　実 | 沼澤　美優 |
| 野間葉瑠香 | 濱岡　美有 | 浜名みゆき | 東　生子 | 日野　修志 | 平澤　龍弥 | 平野　雅久 | 古谷　篤志 | 古矢　智春 | 丸山　大樹 | 三浦　史也 | 満井　春奈 |
| 三好　真央 | 村山　香織 | 森　彩夏 | 山口　彩瑛 | 山崎　和奈 | 吉田　大祐 | 若林　理子 | 和久田恭平 | ほかボランティア | ※敬称略／50音順 | | |